

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公共交通利用促進事業(地域における利用促進等の取組み)				シート番号	017-017
担当部署名	建築都市	局	交通	部	公共交通	課 評価責任者(課長名) 山下

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	無
	2	事業開始年度	平成 22 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	美原区において平成22年度にバス利用者の増加を目的とし、地域、バス事業者とともに利用促進の取組を開始。地域の意見を聞きながら、バス利用促進に取り組んでいる。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民・路線バス利用者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	公共交通の利用分担が低いバス路線を維持するため、利用者の増加を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	利用者の増加に向けて、以下の利用促進の取組を実施。 ・農芸高校と美原高校の新入生向けのバス通学案内「バス通学のすすめ」を配布 ・バスの路線図や乗り方等を掲載した「バスの乗り方ガイド」を区役所の市政情報コーナー等で配布 ・堺市内在住の小学生を対象にペーパークラフトバスを用いたバスの乗り方教室を開催 ・みはら区民まつりでの路線バスの利用啓発活動 ・美原区内の民間施設等でバスロケーションシステムの紹介チラシを掲示			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				

Ⅲ. 投入量

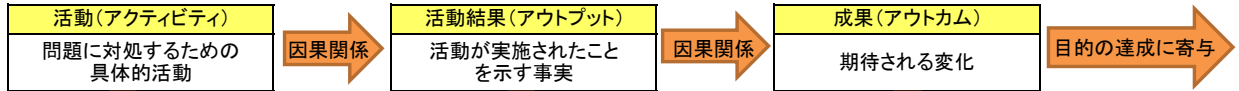
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費(a)	千円	662	537	1,140	907	470	339	446	
	主な事業費内訳	印刷製本費等	千円	662	537	1,140	907	470	339	446
			千円							
			千円							
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債		千円								
	その他()	千円								
	一般財源	千円	662	537	1,140	907	470	339	446	
12	人件費(b)	千円	4,510	4,920	4,428	4,100	3,645	4,050	4,100	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	5,172	5,457	5,568	5,007	4,115	4,389	4,546	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	公共交通利用促進事業(地域における利用促進等の取組み)	シート番号	017-017
-------	-----------------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



<p>[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載</p> <p>[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載</p>	<p>【達成率に基づいた評価基準】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>評価</th> <th>達成率</th> </tr> <tr> <td>大変良い</td> <td>120%以上</td> </tr> <tr> <td>良い</td> <td>100%以上120%未満</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>80%以上100%未満</td> </tr> <tr> <td>少し悪い</td> <td>60%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	評価	達成率	大変良い	120%以上	良い	100%以上120%未満	普通	80%以上100%未満	少し悪い	60%以上80%未満	悪い	60%未満
評価	達成率												
大変良い	120%以上												
良い	100%以上120%未満												
普通	80%以上100%未満												
少し悪い	60%以上80%未満												
悪い	60%未満												

事業の活動実績や成果

令和元年度実績																																				
活動実績と成果	14	<p>利用者の増加に向けて、「小学生」や「通勤・通学利用者」など対象を絞った取組や区全体に向けた以下の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農芸高校と美原高校の新生入生へ向けたバス通学案内「バス通学のすすめ」を配布し、バス利用を啓発(計600部) ・バスを利用する際に便利な情報や路線図を記載した「バスの乗り方ガイド」を美原区役所及び東区役所の市政情報コーナー等で配布 ・堺市内在住の小学生を対象にペーパークラフトバスを用いたバスの乗り方教室を開催(MCみはら、北区役所の2箇所で開催) ・みはら区民まつりでの利用啓発活動として、事業者と協力し、タブレット端末を用いたバスロケーションシステムの体験やバス車両を用いたバスの乗り方教室を実施 																																		
	15	バス利用促進策の実施	策	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>指標名【活動指標】</th> <th>単位</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td></td> <td>良い</td> <td>良い</td> <td>良い</td> <td>良い</td> </tr> </table>	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値		5	5	5	5	実績値		5	5	5	5	達成率		100%	100%	100%	100%	評価		良い	良い	良い	良い		
	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																														
	目標値		5	5	5	5																														
	実績値		5	5	5	5																														
	達成率		100%	100%	100%	100%																														
	評価		良い	良い	良い	良い																														
	算出方法・設定根拠など		美原区内でのバス利用促進策の実施数																																	
	16	美原区域路線バス年間利用者数	人	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>指標名【成果指標】</th> <th>単位</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td>673,000</td> <td>718,000</td> <td>690,000</td> <td>703,000</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td>681,000</td> <td>687,000</td> <td>700,000</td> <td>703,000</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>101%</td> <td>96%</td> <td>101%</td> <td>101%</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td></td> <td>良い</td> <td>普通</td> <td>良い</td> <td>良い</td> </tr> </table>	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値		673,000	718,000	690,000	703,000	実績値		681,000	687,000	700,000	703,000	達成率		101%	96%	101%	101%	評価		良い	普通	良い	良い		
	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																														
目標値		673,000	718,000	690,000	703,000																															
実績値		681,000	687,000	700,000	703,000																															
達成率		101%	96%	101%	101%																															
評価		良い	普通	良い	良い																															
算出方法・設定根拠など		前年度実績を基準とし、一昨年度からの増加率をもとに目標値を算出																																		

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	美原区域路線バス年間利用者数	人	681,000	687,000	700,000
	②	上記①にかかる年間経費	千円	5,457	5,007	4,389
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	8	7	6
	備考(算出についての説明等)		利用者数の維持確保及び年間増加にかかる経費			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
19	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2、3月の美原区域路線バス利用者数は前年度の同月と比較すると減少したが、年度を通じて継続的に利用促進の取組を実施することにより、利用者数が増加し、年間利用者数としては、目標値を達成することができた。今後美原区では、大規模開発等による沿線環境の変化が想定されることから、地域等の意見を聴きながら、利用促進策を検討する必要がある。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	公共交通利用促進事業(地域における利用促進等の取組み)	シート番号	017-017
-------	-----------------------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 区民のバス利用に対する意識が薄れることにより、利用者が減少し、減便等の利便低下につながる恐れがある。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 区民のバス利用に対する意識が薄れることにより、利用者が減少し、減便等の利便低下につながる恐れがある。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 多くの参加者が見込まれるイベントや行事については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止並びに参加者の安全性の確保の観点から、今年度の開催が中止となり、イベント等と合わせて当課で実施する利用啓発活動についても中止とし、結果としてコスト縮減となった。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 令和2年度の「みはら区民まつり」は開催中止となり、当課で行うバス利用啓発活動についても実施しない。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 地域、事業者、市の適切な役割分担について、今後の状況の変化に応じて検討していく。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見	美原区域路線バスの利用者数は増加傾向にあり、今後も路線の維持確保に向けて、継続的に地域とともに利用促進を実施する必要がある。	